

日本一人口の多い村誕生までカウン  
トダウンを始めた残暦板14日、読  
谷村役場



## 読谷、日本一まで140日

### 人口多い村 役場ロビーに残暦板

【読谷】来年1月1日に日本一人口の多い村に昇格する読谷村は、昇格まで140日となった14日、役場1階ロビーに残暦板を設置した。

除幕式で石嶺伝実村長は「残暦板を皮切りに、日本一までみんなで頑張ろう。人口だけでなく、教育、文化、産業などいろいろな方面で名実ともに日本一を目指したい」と意気込んだ。

残暦板は50センチの液晶画面で、村の史跡や文化、観光名所を紹介する映像と

ともに、1秒ごとのカウントダウンが表示されている。読谷村の人口は7月末時点で4万5400人。全国の町村の中で2番目に人口が多い。現在1位で人口約5万4900人の岩手県滝沢村が市に昇格するため、読谷村が1位に繰り上がる。

若者代表として、村ジュニアリーダーの知花友理阿さん(読谷高3年)があいさつし「明るい未来を持つ読谷村を誇りに思いながら、村民の一人として住みやすい地域づくりに貢献したい」と語った。

